

平成25年度原子力艦放射能調査における分析結果等について

平成26年3月31日
原子力規制庁放射線防護対策部
監視情報課放射線環境対策室

原子力艦寄港地において原子力艦放射能調査（寄港時調査及び定期調査等の非寄港時における調査）を行っています。調査で採取した試料の分析は公益財団法人日本分析センターへ委託し、分析結果は「日本の環境放射能と放射線^(※)」に公表しています。

今回とりまとめた別表に示す寄港時調査の解析・評価結果は以下のとおりであり、原子力艦に起因する放射性物質の漏出は確認されませんでした。

○佐世保港及び金武中城港において採取された海水、海底土の分析結果については、平成24年度以前及び本年度の放射能水準と同程度でした。

○横須賀港において採取された海水、海底土の中には、セシウム137に加えてセシウム134も検出された試料がありましたが、平成24年度及び本年度の定期調査の測定値と同一レベルであり、原子力艦に起因するものではないと考えられます。

(※)「日本の環境放射能と放射線」(<http://www.kankyo-hoshano.go.jp/>)中、「原子力艦放射能調査」の項目を参照。

以上

本件に関する問い合わせ先
原子力規制庁放射線防護対策部
監視情報課放射線環境対策室
電話 03-5114-2126
室長 茂木 伸一
放射線環境対策官 大慈弥 麻里亜